

御陵の風

校長 西岡 浩一 （文責:教頭 藤井 浩彦）



御陵中「校訓」

◆2年生は高校体験学習、1年生は職業講話を実施しました！

2月7日、2年生が筑紫台高校へ「高校体験学習」に行きました。開講式のあと、各学科・コースに分かれて2時間の授業体験、食堂体験、校内見学、在校生との対談などを行いました。授業体験の内容は、「普通科⇒理科と社会」「普通科情報コース⇒パソコン実習」「工業科⇒木材実習」「総合学科：スポーツコース⇒ユニバーサルホッケー、調理コース⇒焼き餅づくり、公務員コース⇒問題演習、音楽コース⇒ハンドベル演奏」でした。中学校とは違う内容で、子ども達は多少の緊張感がありながらも興味津々で授業に臨んでいました。生徒の感想の一部です。



【工業科の授業の様子】

◆実際に体験をさせていただくことで、“高校を選ぶ”ということをととても近くで感じる事ができた。私は、将来どんなことをして働きたいかというものはだいたい定まっているけど、どう高校を選んでよいのかわからずにいた。…私は、高校の先生がおっしゃっていた「高校を選ぶ上で重要なことは『人からたくさん話をきくこと』『自分の目で実際に高校を見ること』」ということを大事にし、これから勉強や進路決定に真剣に取り組んでいきたい。

◆一日だけだったけど、自分の足で学校に行って授業を受けて学食で昼食をとって…家に帰って、本当に高校生になった感じがしてとても楽しかった。また、楽しかっただけでなく、自分の高校に対する考え方も「何となく行けるところでいいかな」から「自分のしたいこと（将来の夢）にあった高校を選ぼう!」と考え直すことができ、とても貴重な一日になった。

1年生は1月に入り、総合的な学習の時間や道徳の時間を使って、「身近な職業を知る」「将来の生き方を考える」「望ましい職業観」など全7時間の進路学習を計画し実施してきました。その総まとめとして、2月8日には「ハローワーク福岡南」より講師をお招きして、職業講話をしていただきました。生徒の感想には、



【講話の様子】

◆コミュニケーション能力を「言葉のキャッチボール」で身に付け、今から勉強して将来につなげたい。
◆「オレンジジュース」が手元に届くまでにどれだけの人や仕事関わっているかがわかり、すべての仕事はつながっていると感じた。
◆一つ一つの職業に意味があり、どの職業も私たちが生活していくときに必要であると思った。

などの感想が書かれていました。講師の先生からは、最後に将来の自分をイメージして『今できること、やるべきこと』として3つのことを話していただきました。1つ目は上の感想にもある「コミュニケーション能力を身に付けること」、2つ目は「力をたくわえること」、中でも「基礎学力、基礎体力をつける」「好奇心をもって調査・研究する」、3つ目は「人間力を鍛えること」例えば、「約束を守る」「きちんとした自分のものさしを持つ」などの話をしてくださいました。3年生も残すは、公立高校入試、そして卒業式のみとなりました。義務教育が終わりそれぞれの道を進んでいくときがやってきます。1・2年生も今回の高校体験学習や進路学習を通して、将来について少しずつ考え、日常生活を振り返り、より充実した一日一日を過ごしていくことが大切になります。ご家庭でもぜひ、話題にしてみてください。

今後の行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
3	1	金	新入生物品販売 PTA納会	3	8	金	第36回卒業証書授与式
	6	水	公立高校一般入試		12	火	PTA本部役員会
	7	木	個性重視の特別試験		14	木	2年生進路説明会
	7	木	3年生同窓会入会式・修了式		15	金	生徒総会
					22	金	修了式

広い視野を持つこと

ある公立高校の今年度の推薦入試合格内定者（中学3年生）への課題は、「SDGsの中で、あなたが関心を持った内容について、自分の考えを1600字以内でまとめなさい」だそうです。さて、みなさんは「SDGs」をご存じですか？

「SDGs」とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、SDGs（エス・ディー・ジーズ）と発音するそうです。最後のジーズはGoals（ゴールズ）の略です。SDGsは、2015年の国連サミットで採決されたもので、国連193カ国が2016年から2030年で達成するために掲げた目標です。この目標は、17の大きな目標と169のターゲット（具体的な目標）から構成されています。SDGsの17の目標は以下の通りです。

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナリシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	

貧困や飢餓、安全な水などは、もしかしたら日本にはあまり関係ない問題ととらえる方がいるかもしれませんが、一方、健康や教育、エネルギー問題、働きがい、まちづくり、気候変動…となると、とても身近でしっかり考えなければという方もいるでしょう。しかし、ここに挙げてある目標は、21世紀の世界が抱える課題を、この地球上にいる人みんなが考え、知恵を出し、協力し、2030年までに達成しようというものです。

それぞれの目標に169のターゲット（具体的な目標）があります。例えば、1の「貧困をなくそう」では、1-1「2030年までに、現在一日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場で終わらせる」、1-2「2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる」などのように細かく書かれています。ちなみに、2018年8月に発表されたSDGsランキングで日本は156カ国中15位、17の目標のうち達成されていると評価されたのは、目標4「質の高い教育をみんなに」のひとつのみだったそうです。

少し難しい話ですが、機関投資家（大規模な投資を行う企業・金融機関などの投資家）が投資をする際に、その会社の財務状況を見るだけでなく、環境や社会への責任を果たしているかどうかを重視すべきであるという提言がSDGs以前にあり、これが世界中に広まりました。現在では、日本企業にとってもSDGsは、大きな指標（目標）になっているのです。

中学校では、次期学習指導要領（学校教育の方向性、内容等を示したもの）の中で、「人間の予測を超えた社会の変化」に対応し、生徒は、学ぶ力を身に付け、たくましく支え発展させていくことが期待されています。また、知識・技能の習得はもちろんのこと、豊かな人間性、思考力・判断力・表現力を身に付けていくことが求められています。目の前の勉強を一生懸命にすることはもちろんとても大切なことですが、社会の動き・変化を知り、対応できる人間、社会のために活躍できる人間、そして世界で活躍できる人間を育てていくことが教育にも求められているということです。そして、それは、到底学校だけではできません。学校、家庭、地域、社会全体で子ども達に関わり育てていかなければならないということです。

おそらく、先にあげた高校は、入学してくる生徒に「世界基準」「世界目線」の人であってほしいという願い、そして、高校でもそういう人材を育成する教育をしていくことを知ってほしいという意味も込めて上記のような課題を出したのではないのでしょうか？

以前の学校便りにも載せましたが、様々な災害が起こる中で「共助」が叫ばれ、ともに考え助け合うことが必須になっています。「自分のことだけ」「自分だけ」では、解決しない問題が山積しています。ニュース等では、人間の「心ない行動」によって目を覆うような映像を目にすることがたくさんあります。今こそ、それぞれが、「相手意識」を持って、自分にできることをしっかりと考え具体的に行動する。そして、身の回りに、世の中に目を向け、自分のこととして考えていくことが重要であると思います。そのためには、知識だけでなく「人間力」を磨いていくことが、世界中の人に求められているのだと私は思います。中学校での進路学習も単なる「進学指導」にならないように「生き方」を考える指針になるようなものにしていきたいと思います。そして、子ども達がしっかりと自分の「目標」を持ち、将来社会で、世界で活躍できるようにになれば…そう願います。